

最近の感染症発生の動向について

1. 鳥インフルエンザ

(1) 世界の鳥インフルエンザのヒトへの感染状況について

鳥インフルエンザ A(H7N9)の発生状況について、これまでのWHOから発表によると、2013 年 3 月以降、ヒト感染患者は 1568 名(うち、少なくとも 616 名死亡)です。

発生地域は中国(4 市 19 省 4 自治区)、香港特別区、マカオ特別区、台湾で、輸入症例はマレーシア、カナダにて報告があります。2020 年以降、ヒトでの発生報告はありません。(※WHO 発表より 2022 年 5 月 6 日報告)

鳥インフルエンザ A(H5N1)の発生状況(2003 年 11 月以降)について、2020 年以降の発生国及びヒト感染患者は、12 か国、103 名(うち 11 名死亡)です。2020 年以降の新たな発生国は、オーストラリア、チリ、エクアドル、インド、スペイン、英国、米国です。

米国では、2024 年以降 66 件、鳥インフルエンザ A(H5N1)のヒト感染例が報告されていますが、2025 年 1 月に米国初の死亡の報告がありました。

(2) 国内の鳥インフルエンザの発生状況について

2025 年 2 月 11 日 9 時時点で、野鳥が 1 道 16 件で 113 事例確認されています。家きんが 14 道県で 51 事例発生し 93 万羽が殺処分の対象となっています。飼養鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス陽性事例は確認されておりません。

今シーズンの初動は、家きんで過去最多の発生となった令和 4 年シーズンに匹敵するペースで発生しており、同日比で 7 割弱となっています。例年 1 月がトップシーズンである中、今シーズンは月間 34 事例発生・648 万羽殺処分と、1 月としては過去最多を記録しました。発生が急増しており、全国どこで起きてもおかしくない状況となっています。

【参考】

- ・鳥インフルエンザについて(厚生労働省 HP)
- ・令和 6 年度 鳥インフルエンザに関する情報(農林水産省 HP)